

2026年5月22日

サスメド株式会社

報道関係各位

持続性知覚性姿勢誘発めまい（PPPD）に対する認知行動療法アプリを用いた臨床研究結果に関する学会発表のお知らせ

この度、国立大学法人新潟大学（所在地：新潟県新潟市、学長：染矢 俊幸、以下「新潟大学」）とサスメド株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：上野 太郎、以下「当社」）が共同で研究開発^{※1}を進めております持続性知覚性姿勢誘発めまい（Persistent Postural Perceptual Dizziness; PPPD）に対する認知行動療法アプリケーション（以下、「本アプリ」）に関して、新潟大学が実施した多施設共同ランダム化二重盲検比較試験^{※2}（jRCT1032260097）の結果が2026年5月22日に開催された「第127回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会」において、堀井 新教授（新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）の研究グループに所属する木村 堯医師より報告されましたのでお知らせいたします。

<臨床研究の背景と目的>

PPPDは3ヶ月以上持続する浮動感・不安定感・非回転性めまいを主訴とする慢性めまい疾患です。PPPDに対しては、薬物療法、前庭リハビリテーション、認知行動療法（CBT）が有効とされています。薬物治療においては、めまい症状や日常生活支障度の緩和に有用である一方で、副作用出現率の上昇とともに治療継続率が低下する傾向があり、適切に副作用をコントロールすることが重要であると考えられています。CBTは、薬物療法特有の副作用が見られないといった利点がある一方で、臨床心理士等の専門職による対面での介入が必要であり、日本国内では実施可能な施設が限られているため、患者の治療アクセスが困難な状態です。本アプリはスマートフォンを通じてデジタル CBT を提供することで、臨床心理士等の人的リソース不足や地理的なアクセス制限などの課題を解決し、場所を問わず PPPD 患者へ新たな治療選択肢を提供することを目指しております。

<臨床研究デザインの概要>

本試験は通常治療を行っている PPPD 患者 80 名を対象に本アプリを用いたデジタル CBT の実施可能性および予備的有用性を二重盲検下で探索的に検討しました。本試験では介入群として、本アプリを利用するデジタル CBT 群と、治療に関係する機能を除外したシャムアプリを利用する対照群の 2 群を設定し、めまい指標（Dizziness Handicap Inventory; DHI）のベースライン値が両群で偏らないよう割付因子とし、被験者をランダムに割り付けました。

<臨床研究の結果>

主要評価項目であるめまい指標（DHI）において、デジタル CBT 群は本アプリ処方後から 8 週時点で-8.16 点減少し、対照群は-0.96 点減少しました。通常治療の影響を除いたデジタル CBT による治療介入効果は-7.20 点でした。治療期間の 8 週間終了後である 10 週時点においても治療効果は維持されました。

副次評価項目として、DHI とは別のめまい指標である NPQ (Niigata PPPD Questionnaire) においても一貫した改善傾向が確認されました。医師が全般的な症状の改善度を評価する CGI-I において、デジタル CBT 群では 50%が改善したと評価されたのに対し、対照群では 20%でした。患者自身が QOL を評価する EQ-5D-5L におけるデジタル CBT の治療介入効果は +0.098 点でした。安全性に関して、デジタル CBT 群と対照群のいずれにおいても重篤な有害事象は確認されませんでした。

なお、本研究に関する詳細については論文を投稿予定です。

<用語解説>

・ シャムアプリ

医薬品開発におけるプラセボに相当するアプリ。

・ DHI

めまいによる日常生活の支障度を測る指標で 0 から 100 点の値をとる。小さい値ほど支障度が小さいことを意味する。

・ NPQ

PPPD 症状の増悪度を測る指標で 0 から 72 点の値をとる。小さい値ほど増悪しにくいことを意味する。

・ CGI-I

臨床医が患者の治療開始前の状態と比較した現在の症状の全般的な改善度を評価する 7 段階尺度。

・ EQ-5D-5L

患者自身が日常生活の質を評価する指標であり、移動、身の回りの管理、日常活動、痛み/不快感、不安/抑うつ の 5 項目を 5 段階で評価する。0 から 1 までの値に変換され、大きい値ほど生活の質が高いことを意味する。

<関連情報>

※1 2024年5月17日 プレスリリース（PPPDに対する認知行動療法アプリの開発開始）

https://susmed.co.jp/wp-content/uploads/2024/05/20240517_news_PPPD.pdf

※2 2024年8月28日 プレスリリース（PPPDに対する認知行動療法アプリの臨床研究開始）

https://susmed.co.jp/wp-content/uploads/2024/08/202408_PPPD.pdf

<本件に関するお問い合わせ先>

サスメド株式会社

E-mail: support@susmed.co.jp